

記入例



捨印を押してください

農地法第3条の規定による許可申請書(申請書は2部提出です)

令和 年 9 月 1 日

下記農地(採草放牧地)について 所有権 移転
賃借権を 設定 したいので、農地法第3条第1項に規定
使用貸借権 する許可を申請します。

平戸市農業委員会会長

様

不要な文字は抹消してください
(例)所有権移転

申請者

譲渡人 生月 晃司

印

譲受人 平戸 敦

印

記

1 申請者の氏名等

申請者	氏名	年齢	職業	住所	備考
譲渡人	生月 晃司	82	無職	生月町里免1660番地	
譲受人	平戸 敦	58	農業兼 会社員	平戸市岩の上町1508番地3	

2 許可を受けようとする土地の所在等(土地の登記事項証明書を添付してください)

所在	地番	地目		面積 (㎡)	対価、賃 料等の額 (円) <small>[10a当たりの額]</small>	所有者の氏名 又は名称 [現所有者の氏 名又は名称(登 記簿と異なる場 合)]	所有権以外の使用収益権が 設定されている場合	
		登 記 簿	現 況				権利の種 類、内容	権利者の氏名又 は名称
田平町里免字西田	27番100	田	田	2,000	1,000,000 [500,000]	[]		
〃	27番101	田	田	100	1,000,00 [1,000,000]	[]		

所在地、地番等は法務局で発行される土地の全部事項証明書により記入してください。
また、ここに書ききれない場合は別紙に記入して、2ページ目に挟んでください、(割印・捨印を他と同様に押してください。)
現況が農地で無い場合(原野・山林化している場合)は農地法第3条による所有権移転はできません。

計	2筆			2,100㎡	[]	[]		
					田2,100 畑	㎡ ㎡	樹園地 採草放牧地	㎡ ㎡

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲渡の理由: 高齢化による経営規模の縮小

譲受の理由: 経営規模拡大のため

それぞれの理由を記入してください

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

売買の場合: 売買による所有権移転(許可あり次第所有権移転登記を行う)

贈与の場合: 贈与による所有権移転(許可あり次第所有権移転等を行なう)

※要添付書類(1部): 土地の全部事項証明書(法務局)、土地の所在地がわかる地図等

各ページとも両申請人の捺印、割印を押してください。

割印は前のページの裏側半分にかかるよう押してください。

5 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

(単位:㎡)

	所有地		所有地以外の土地		経営地 ①+③	権利 取得後 の面積
	自作地 ①	貸付地 ②	借入地 ③	貸付地 ④		
田	6,000		5,000		11,000	13,100
畑		2,000				
樹園地						
計	6,000	2,000	5,000		11,000	13,100
採草放牧地	※面積の詳細が不明な場合は、農業委員会にお尋ねください					
非耕作地						

(記載要領)

「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。なお、「所有権以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第6号の括弧書きに該当する土地です。

「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものの面積を記載してください。

6 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行なう耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況

(「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行なう耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。)

	農作業に従事する者の氏名	年齢	主たる職業	権利取得者との続柄	農作業従事日数	備考
世帯員 (構成員)	平戸 敦	58	農業兼会社員	本人	150	農作業歴 25 年 農業技術修学歴 年
	杏子	56	会社員	妻	50	農作業歴 26 年 農業技術修学歴 年
	靖幸	30	会社員	子	50	農作業歴 8 年 農業技術修学歴 2年
	詠一	80	農業	父	200	農作業歴 60 年 農業技術修学歴 年
						農作業歴 年 農業技術修学歴 年
常雇	※譲受人の世帯で農業従事者について記入をしてください。					
季節雇・臨時雇	年間延日数		男	日、	女	日

7 農地法第3条第2項第2号に規定する農地所有適格法人の要件に係る事項
その法人の構成員等の状況(別紙に記載し添付してください)

※権利を取得しようとする者が農地所有適格法人である場合のみ記載してください

捨印



- 8 権利を取得しようとする土地の作付予定作物及び権利を取得しようとする者及びその世帯員等の機械の所有の状況。

(1) 作付(予定)作物

	田	畑	樹園地	採草放牧地
作付(予定)作物	水稲、飼料作物			

(2) 大農機具及び家畜

種類	トラクター	耕うん機	田植機	牛
数量				
所有	1	1	1	10
リース				
導入予定 (資金繰りについて)				

(記載要領)

割印

1 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。

2 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)等資金繰りについても記載してください。

9 権利を取得しようとする者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離及び時間

自宅から500m 徒歩3分

10 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載してください。

(例)申請地の周囲農地は全て自己所有地であり、何ら影響はない。
※支障が無い場合は「特に無し」と記入をしてください

11 地域との役割分担の状況

地域の農業における他の農業者との役割分担について、具体的にどういった場面でどういった役割分担を担う予定であるか以下に記載して下さい。

(例1)申請地は土地改良内の農地であるため、土地改良区の取り決めに沿って営農を行なう。

(例2)農業用水路の利用、その他取水については、地域で決められたことに従い行なう。